

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 生涯学習総合センター

取組名

【 つながり づくり】生涯学習総合センターは、「つながりづくり」を進めるために、公民館活動の活性化に向けた環境整備をします。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

コロナ禍において、団体・サークル活動の活性化支援に向けて、学びたい人と団体のマッチングを促進させるために、各公民館で活動するサークルの情報提供を同一のデータベースで全公民館実施できるよう取組む必要がある。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

市民の負担軽減や手続きの簡素化のため、公共施設予約システムへの団体登録に併せて、生涯学習情報システムへも団体登録ができるよう、生涯学習振興課と協議を行った。

そして、さいたま市公民館運営要綱を整備し、併せて生涯学習情報システム運用要綱の改正を依頼した。これらを経て、令和4年5月以降「さいたま市公共施設予約システム 利用者登録（変更）申請書（様式第1号）」をもって生涯学習情報システムへの団体登録が可能になった（必要事項が記入されている場合のみ）。

<取組による成果>

上記の取組を通じて、生涯学習情報システムの登録団体数が、令和4年3月31日時点の52団体から、令和5年3月31日時点で128件まで増加した。

<今後の課題>

生涯学習情報システムへの情報登録が増加したので、そうした情報を各公民館で積極的に活用できるよう周知する必要がある。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 指扇 公民館

取組名

【 人 づくり】

指扇公民館は、様々な内容の事業を創生し、生涯学習を助け、地域人材との協働を図ります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

近年の区画整理により、指扇地区に長く住み続けている住民と新しい住民が混在しているため、公民館を拠点として交流を図り、自らの住む街を好きになる人づくりをするため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

藍染め体験講座は地域住民を講師に迎え、Tシャツやハンカチなどの藍染を体験した。今回の講座参加者の中から、今後講師となれる人材の育成ができ、引き続き地域住民が活躍できる講座となった。

指扇史跡巡りは地元在住の青少年育成指扇地区会会長を招聘し、地域住民同士の交流と地域への理解を深め愛着を持てる人づくりを行うため、指扇地区の史跡の名所を2時間かけて巡った。

<取組による成果>

藍染体験講座は応募された全ての方に参加していただくこととなり、午前の部15名、午後の部18名の方に参加していただくことができた。また、指扇公民館の講座に初めて参加する人もおり、様々な方に利用していただくことや、地域住民と公民館が関わりを持つこと、公民館に興味を持ってもらうことなどができた。

指扇史跡巡りは地域の名所を訪れ、普段目にすることはあっても由来や歴史などについて知らないことに触れることができ、今回の講座が地域への愛着を持つきっかけづくりとなった。

<今後の課題>

公民館の主催講座は、65歳以上の高齢者が参加者の多くを占めてしまうことが多い。そんな中、今回の事業は土曜日開催としたこともあり、10歳未満から80歳代までと幅広い年齢層の参加があった。今後は、より多くの若い世代や子育て世代が集えるように、実施日程を考えるなど、公民館事業に参画してもらえそうな取組が必要だと感じている。また、登録団体や地域団体に参加・協力してもらった取組をより進めることで、つながりづくりを推進していきたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 馬宮 公民館

取組名

【地域づくり】

誰もが「住みやすい」「住み続けたい」と思える「地域づくり」を進めるために、SDGsの普及、達成につながる「馬宮SDGsプロジェクト」の取り組みをした。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

さいたま市内公共施設で「SDGs」の取組を発表していた地域の小学生や前年度の環境講座参加者で「世界に目を向けよう～今、私たちにできること～チーム馬宮」という団体を結成した。その団体と公民館が協力して、SDGsを自分ごととして考え、一人一人が未来のためにできることを実践するために、SDGsを発信する取り組みをすることになった。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ① 結成した団体の協力で「馬宮SDGsプロジェクト」講座（6/26・7/24・9/4・10/23）を開催。
- ② 「近隣中学校との連携～中学生からのメッセージ～」として、各月で馬宮中学校と土屋中学校の生徒作品を展示。
- ③ SDGsについて積極的な周知をするために、館内にSDGsの木を設置。公民館報で「SDGsプロジェクト」の取組状況を毎月掲載。

<取組による成果>

- ・年齢・性別・立場の違いを越えて地域住民同士様々な方々と学びを共有することができ、連続講座としたことで、参加者のつながりができた。
- ・講座の最終回は地域のごみ拾いを実践し、地域への啓発ポスターを作成した。ポスターや作品展示を通して、個人の学びから地域に学びを発信できた
- ・館内に参加型の掲示物を設置することにより、取組みを可視化できた。
- ・大学生が講座に参加したことにより、公民館事業に興味を持ち、Z世代企画事業実施につながった。

<今後の課題>

- ・令和5年度も団体と協力して「馬宮SDGsプロジェクト」講座を開催するが、団体の主メンバーが学生のため打ち合わせの時間や方法の工夫が必要。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：植水公民館

取組名

【「地域づくり」・「つながりづくり」】

植水公民館は、植水の魅力を再発見し、地域愛着の向上を促し「地域づくり」「つながりづくり」へ発展するため、令和4年度は「植水の八百比丘尼伝説」紙芝居制作の下準備と打ち合わせなどを行いました。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

植水には歴史的資産や伝説等がありますが、子供たちにわかりやすく紹介・啓発できる手段がなく、地域在住の郷土史研究者及び学校地域連携コーディネーターより相談を受けたことがきっかけです。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・令和5年度に大宮光陵高校生徒に作画を依頼し、完成を予定しているため、令和4年度は、紙芝居の骨組みを作り、関係各所に連絡調整・下準備等をおこないました。
- ・実行委員会を立ち上げ、紙芝居のシナリオを作りました。
- ・途中経過を小学校・中学校の学校運営協議会で発表しました。
- ・大宮光陵高校の担当教諭と3回打ち合わせを行い、イメージーションを膨らますため生徒16人とゆかりの場所を歩きました。

<取組による成果>

- ・生徒に地域との交流の場と紙芝居制作というボランティア活動を提供できました。
- ・チャレンジスクール推進として小中学校で事業化されました。
- ・作画を担当する生徒の要望に沿った資料作りになるように、地域の歴史や伝説を見直したところ、改めて学びなおす機会となりました。

<今後の課題>

- ・画材や消耗品費等の予算等について検討が必要。
- ・実行委員会の意図した内容に沿っているかすり合わせを行う必要があります。学業に影響しない範囲で、楽しく気楽に取り組んでもらうよう促します。

様式第1号（第4条関係）

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：内野公民館

取組名

【つながりづくり】

内野公民館は、音楽でつながる、学びでつながる地域づくりを推進します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

内野公民館は、市内で最も新しい公民館であり、対象区域である三橋5・6丁目、宮前町の結びつきも強いとはいえない状況にある。このため、公民館では、開館以来、音楽をツールとしたつながりづくりに力を入れてきた。

音楽は、聴衆として気軽に参加でき、聴く人に一体感を与える有力なツールであることから、ビジョンに取り入れることとした。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- (1) ロビーコンサート 3回（6/6、10/3、12/5）
- (2) その他のコンサート 4回（10/30、12/4、3/1、3/12）
- (3) 歌声サロン 10回（4日間×1回、3日間×2回）

このうち、(1)は、市民の公募による「ロビーコンサート企画委員会」が、出演者、開催日時、プログラムなどを決定し、会場設営や司会進行までを行っている。

また、企画委員会委員が(2)に出演していただいたり、出演者を紹介していただいたりと、様々な御協力をいただいている。

<取組による成果>

内野公民館が開催するコンサートは、近年人気が高まっており、今年度では、すべて受付開始当日に満席になるほどである。

また、参加者のほとんどから「良かった」、「感動した」などの感想をいただき、次回はいつやるのか質問されることも多い。

<今後の課題>

(1)については、コロナ禍のため、令和4年度までは出演者を企画委員会が決定していたが、次年度からは公募を再開することから、出演者の応募がどの程度あるかが課題である。

(2)についても、できるだけ地域にゆかりのある人材に出演していただきたいが、地域人材をどの程度発掘できるかが課題である。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大砂土公民館

取組名

【つながりづくり】学校や地域団体などと協働で、地域のみなさまの郷土愛を育み、つながりづくりを推進します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

公民館は、地域住民の交流の拠点としての役割に加え、小中学校や図書館と共同して、各世代間の交流を促し、地域住民のなおい層の「つながりづくり」の促進と郷土愛を育む責務があるため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

地域の伝統文化を守るとともに継承し続けている地域の団体「土呂囃子連」を夏休み子ども公民館の講師として招き、地元の小学生に太鼓や踊りを指導してもらった。また講座の補助者として地元の中学生ボランティアが参加した。

<取組による成果>

地域に伝わるお囃子を、講座参加者の小学生やボランティアの中学生が体験することにより、地域の文化を知り、また継承していくためのきっかけづくりとなった。また地域住民の交流、同時に各世代間交流を促進するという目的は達成された。

<今後の課題>

各世代間の交流を促し、地域住民のなおい層の「つながりづくり」の促進と郷土愛を育むために、地域に根差した活動を行っている団体や人材を講師として活用することが肝要であると考えます。今後とも北区内公民館との情報共有に努めながら、地域にゆかりのある人材や地域住民にとって魅力のある講座内容を探求していく必要がある。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：日進公民館

取組名

【人づくり】
「学びたい」ことを学べる公民館

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

幅広い世代の地域住民の、身近な場所で、「学び直してみたい」「もっと学びたい」という気持ちに応えられる公民館をつくりたい。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・ボランティア活用のノウハウを得るため、夏休み子ども公民館運営の、中学生ボランティアの募集と活用。
- ・人材発掘の一環として、子ども公民館絵画教室に地域在住の講師を依頼。
- ・近隣の生花店にフラワーアレンジメントの講師を依頼
- ・近隣の埼玉大学教育学部附属特別支援学校に障害理解講座の講師を依頼。
- ・月ごとに、「日進ギャラリー」として地域サークルや個人から参加を募り、作品を公民館内に展示し地域にどんな技を持った人たちがいるかを紹介。

<取組による成果>

- ・若い世代に、公民館の存在を周知することができた。
- ・若い世代が公民館に対して持っているイメージをつかむことができた。
- ・地域に、公民館が「学びの場」であることを認識してもらい機会をつくることができた。

<今後の課題>

- ・公民館について、「地域住民が学習するところ」という認識が、若い世代だけでなく、十分に足りていない。
- ・子どもたちに夢を与える「日進の匠（たくみ）による講座」を推進する。
- ・本年度は、リフレッシュ工事に伴う休館期間の為取り組みが制限された。
- ・地域の人材発掘のための方策を検討する。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：宮原公民館

取組名

【つながりづくり】

宮原公民館は「つながりづくり」を進めるために、地域の皆さまと共に地域の活性化に向けた環境をつくりまします。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

最近、高齢化を理由にサークル登録を廃止する利用団体が多くなってきたため、文化祭の参加団体や来館者が減る懸念がありました。そこで、文化祭と子どもまつりを同日開催し、様々な年代の来館者が交流し集える場として公民館を提供することにより地域が活性化するのではないかと考えました。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

宮原公民館の文化祭（展示の部）と公民館子どもまつり（子どもたちの作品展示）を同日開催することで、それぞれの展示作品を両方とも観覧することができました。会場の設営や作品の展示は、サークル代表者や学校のPTA、中学生ボランティアの協力をいただきました。

<取組による成果>

文化祭の展示作品は高齢者の出品が多く、公民館子どもまつりは地域の小中学生に出品協力を依頼しているため、当日の来館者の年齢層が幅広くなりました。文化祭と公民館子どもまつりの同日開催は、世代を超えた地域コミュニティの推進を図る環境を提供できたと思います。

<今後の課題>

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響で広報などはせずに参加者中心での開催となりました。また、参加団体についても例年よりも少数でした。令和5年度以降、広報等にも力を入れ、参加団体を増やせるよう取り組んでいきたいと思っています。文化祭と子どもまつりの同日開催を継続し、子ども達のワークショップを企画するなど、様々な世代の交流の活性化を目指したいと思います。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：植竹公民館

取組名

【人づくり】

公民館利用者の活動の様子や該当地域の小中学校の児童生徒の作品展示をとおして、地域の連携強化に努めながら人づくりを図る。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

公民館利用サークルの代表者と地域の団体及び小中学校からの希望と意見を聞くことができた。特に各小中学校の学校運営協議会の情報を参考にした。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・取組の具体化を図るため、植竹地域連絡協議会や公民館利用者説明会をとおして事業計画や地域行事等について情報交換ができた。
- ・該当地域の小中学校の学校評議会、学校関係者評価委員会、学校運営協議会のメンバーと積極的な意見交換ができた。

<取組による成果>

- ・公民館利用者、クラブや団体の活動発表については、相互理解が深まり活動全体が明るく積極的になった。
- ・作品展については、開催期間と個性的な展示作品が高い評価を受けた。
- ・地域からの強い要望であった「わかたけスマイルコンサート」が広い会場である中学校の体育館で多くの参観者を招いて開催できたことは大きな成果であった。改めて「地域の意見を聞くことを重要視する大切さ」を痛感させられた。

<今後の課題>

- ・今後は、より効率的な取組を図るために、さらに関係機関との連携強化並びに各小中学校との積極的な情報交換に努めたいと考えている。
- ・「わかたけスマイルコンサート」については、今年度の反省を活かし開催時期と時間を再調整し、寒い時期の開催を避けたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 桜木 公民館

取組名

【 人 づくり】

「一緒に考えてい講（こう）座」

人々のつながりの場をつくるとともに、地域課題を解決するための魅力あふれる様々な学びの機会を設ける。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

コロナ禍で行動規制がかけられ、外出する機会や人と触れ合う機会が減り、公民館においても施設の貸出や対面式の講座を開催することが困難となり一方で学びの場やコミュニティの場の重要性について再考してきました。また、これまでも講座を受講した市民の声や地域住民または地域団体を講師として依頼したり、社会情勢から学ぶべきテーマを講座として企画してきましたが、講師の限定的な人選や特定の講座受講者からの声を事業に反映させていることに留まっている傾向があり、果たして「本当に公民館に求められている事業を行っているのか」という問いからこの取組を始めることとしました。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

< 取り組んだ内容や、住民との協働事例等 >

- ・ 地域の高齢者の居場所づくりのため、地域包括支援センター春陽苑やボランティアグループと協働して介護予防や介護に関する学習会及び脳トレや折り紙等のレクリエーションを行う『さくらぎふらっとサロン』を4回開催しました。
- ・ 子どもの居場所づくりも兼ねて地域の方が課題としている伝統文化継承をテーマに『親子で競技かるたを体験しよう！』を3回にわたり実施しました。

< 取組による成果 >

- ・ 実施回数が増すごとに、事業をより良くしていこうという機運が生まれ、協働団体間で活発に意見交換をすることや互いの役割を尊重しあう雰囲気となりました。参加者はもちろんですが、主催側も一緒に楽しみ和やかな場を作ることができました。
桜木公民館で活動していた団体にもボランティアを依頼したところ、来年度から協働に加わっていただけることになりました。（ちぎり絵の作成体験）今後も連携を広げていきます。
- ・ 受講した親子から「継続して学びたい」との声もあり、団体の立ち上げにつなげることができました。

< 今後の課題 >

- ・ 地域の方にいかにして本事業の魅力について知ってもらい、関わりをもってもらえるようになるかが課題の1つです。
- ・ 本事業が継続できるよう公民館主導ではなく、地域主導のシステム作りをいかにしていくかが課題としてあります。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大宮南公民館

取組名

【つながりづくり】

- ・ふれあいや交流の場所を提供しながらコミュニティの推進を深める。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・多くの人とのつながりの場の拠点となることを検討していった中で、地元の学校や社会福祉協議会などとの連携を図っていく取組みを行った。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・公民館サークルの方が講師を引き受けての小学校特別支援学級児童を対象にした「風鈴の絵付け講座」を開催した。
- ・公民館文化祭を3年ぶりに開催した。
- ・公民館の敷地に花を植える「みなみ花クラブ」のボランティア活動への支援を行った。

<取組による成果>

- ・小学校を会場にしての講座を開いたことにより、特別支援学級児童との交流がこれまで以上に深まった。次年度以降も社会福祉協議会と協力しながら継続をしていく。
- ・文化祭をとおして、地域の人々による活動成果の発表・紹介の機会が図られた。また、多くの方が久しぶり行われる文化祭を待ちわびていた様子でもあった。
- ・「みなみ花クラブ」のボランティア活動内容を館内掲示及び館報にて紹介した。

<今後の課題>

- ・世代間交流を多角的に進めていくようにしていくこと。
- ・コロナ禍の状況を見据えながらも、常に社会の変化を意識しながら公民館運営に取り組むことが必要である。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大宮中部公民館

取組名

【つながりづくり】

大宮中部公民館は、誰もが「気軽に」・「楽しく」学べる拠点づくりに取り組むことで、地域の「賑わい」と「居場所」づくりに貢献していきます。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

「公民館ビジョン」が策定される以前より、文化祭にて学習成果を発表できる事業を館の重点事業として掲げていたため。また、館周辺の住環境も変化しており、誰でも気軽に参加できる事業を実施する必要があるため

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ① 3年ぶりに文化祭（公民館まつり）を開催した。
 - ・参加団体：9団体（内訳）発表の部：5団体 展示の部：4団体
 - ・来場者数：236人
- ② サークル以外の方が「気軽に」・「楽しく」学んだ成果を文化祭で発表できる事業を実施した。
 - ・夏休み子ども公民館／陶芸（低学年、中・高学年の部）
 - ・北澤楽天流 楽しい似顔絵教室
- ③ 「気軽に公民館に立ち寄れる事業」として、以下の事業を実施した。
 - ・さいたま市民の日記念事業「春の中・高生作品展」
 - ・ふれあいコンサート
 - ・子どもギャラリー
 - ・文化祭関連事業 みんなで歌おう
 - ・サークル体験事業
- ④ 夏休み子ども公民館において、大宮東中学校の生徒による運営ボランティアを実施した。
- ⑤ 小学校「まちたんけん」、中学校「未来くるワーク体験事業」等の校外学習において学校に協力して、児童生徒を受け入れた。
- ⑥ 館報に掲載した主催事業の全てに二次元コードを記載した。また、35事業中14事業において、WEB申込を実施した。

<取組による成果>

- ・3年ぶりに開催した文化祭は、参加する側は「発表の場」を設けることによって今後のサークル活動の励みになったこと、観覧する側は公民館活動に興味を持つきっかけとなり、大変有意義なものになった。
- ・「夏休み子ども公民館／陶芸」や「北澤楽天流 楽しい似顔絵教室」は、作品が文化祭に出展されることが参加者の良いモチベーションとなった。ま

た、文化祭の観覧者からも好評を得た。

- ・「気軽に公民館に立ち寄れる事業」は、公民館に興味がある方に対して足を運ぶきっかけづくりとなった。
- ・夏休み子ども公民館の中学生ボランティア、小・中学校の校外学習への協力は、普段の利用がない小・中学生に、公民館がどういう施設なのか、アピールする機会となった。
- ・WEB申込は、開館時間に関係なく講座の申込を受けることができた。また、館区外に在住する方からの申込を多く受けることができた。

<今後の課題>

・当館は大宮駅東口周辺の商業地域内にあり、且つ、再開発事業の進捗により、周辺の環境は著しく変貌している。また、自治会に加入しないマンションの居住者も多いことから、他館と比較すると、館と地域との繋がり薄い。このことから「地域の中の公民館」としての在り方をどう示していくのか、今後の課題であると考えている。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 大宮北 公民館

取組名

【 つながり づくり】

大宮北公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

大宮北公民館を知ってもらい、公民館って何をしているのかを認知し利用者が公民館に親しみを持っていただけたら。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

今まで公民館と関わりが無い世代に子育てを機会に公民館事業に参加し、参加者同士や、地域の社会福祉協議会とのつながりをもつきっかけにしてみようため、子育てサロンを定期的開催した。

<取組による成果>

子育てサロンを開催し参加者が公民館に足を運んでくれる機会を提供し、ママ友作りのお手伝いや、協力いただいた社会福祉協議会の方々等の地域の方とも毎月事業を開催する中で顔見知りになっていただき地域のつながりを持つことができた。

<今後の課題>

今後もサロンを継続させ、現在参加している方々が、次の子育て世代のためのボランティアをしていただければと考えています。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：三橋公民館

取組名

【つながりづくり】

三橋公民館は、利用サークルのご協力のもとに地域の学びの循環の拡充を図ります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

【背景】1階のロビー空間を生かし定期的に「ロビー展示」を行っている。1年を通して活動成果の発表が行われるので、職員も活動内容が把握しやすく、主催事業の企画の相談がしやすい。また、主催事業「サークル体験Day」ではそれぞれのサークルが体験活動を行うので、職員が直接活動内容や体験の様子を見ることができ、こちらも主催事業の企画の相談がしやすい。さらに、今年度は地区社会福祉協議会からも地域の講師を紹介していただくこともできた。これらのことから、地域の方や利用サークルの方に講師を依頼し、地域の方が学ぶことができる主催事業の開催、学びの循環の拡充が可能となった。

【ニーズ・地域課題】コロナ禍で利用サークルの会員が減少。利用サークルは会員増加のきっかけを望んでいる。また、地域の住民同士の交流の機会も減っており、地域の方同士が出会えるきっかけの場の提供が望まれている。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

・6月に実施した「サークル体験Day」には13サークルが参加、6月から翌3月までに実施した「ロビー展示」は6サークル、11月に開催した「三橋公民館まつり（展示の部）」には9サークルが参加した。また、主催事業の指導者として12サークルに依頼した。

・2月に実施した介護予防事業「いきいき学級④」では、講師を地域社会福祉協議会から紹介していただき、けん玉名人の地域自治会長に「昔取った杵柄 子どもの頃の遊びに再挑戦！」と題した講座の講師を依頼することができた。なお、講座に必要なけん玉やコマは近隣の児童センターや小学校から借用した。

<取組による成果>

・「サークル体験Day」「ロビー展示」「三橋公民館まつり（展示の部）」「主催事業講師依頼」により、現在伺っている限り、少人数ではあるが8サークルの会員が増えた。

・介護予防事業「いきいき学級④」の「昔取った杵柄 子どもの頃の遊びに再挑戦！」では、講師の地域自治会長が参加者である地域の方にけん玉やコマ、折り紙や手品の妙技を披露。その後、指導もしていただいたので、参加者も昔の遊びを楽しみ、地域住民同士の楽しい交流の場となった。

＜今後の課題＞

コロナ禍で多くのサークルが会員数を減らすこととなった。「ロビー展示」や「サークル体験 Day」「公民館まつり」、また主催事業講師依頼による活動体験の場の提供は会員を増やす良い機会であるが、来館者や体験者に興味を持っていただいても入会につなげることがなかなか難しい。今回の取組だけではなく、日頃の貸館事業の中で職員が各サークルとの関係を構築し、日頃からサークル紹介ができるようになることが理想であると思う。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 大成 公民館

取組名

【つながりづくり】

大成公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

公民館に足を運ぶ方々は住民のごく一部に限られていて、特に高齢層が多くなっています。貸館と思っている利用者も多いのが現実であり、できる限り多くの方々に足を運んでもらうこと、また、公民館は学びの場であり地域活動の拠点であることを周知する必要があると考え、取組を始めました。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・大成公民館へ気軽に行こうと思える事業として、“ピアノミニコンサート”や“ハートフルコンサート”を実施し、公民館という場所に行くハードルを低くするための企画を開催しました。
- ・未就園児と保護者が公民館で遊びながら交流できる機会づくりとして“おおなり およこサロン”を合計10回開催しました。

<取組による成果>

- ・初めて大成公民館に来館された方や、公民館自体が初めての方もおり、足を運んでもらうための事業としては一定の成果をあげることができました。
 - ・“おおなり およこサロン”も予定の定員を上回る申し込みがありました。
- ・地域の若い世代（子育て世代）を公民館に呼び込む良い機会を提供できました。

<今後の課題>

- ・講座がマンネリ化をしているものもあり、社会が求めるニーズをしっかりと把握し、良質な学びの機会を提供できるようにするのが課題です。
- ・地域活動も高齢化が進んでおり、公民館が協力できる機会を見つけサポートできる態勢をどのように作っていくか考えることが必要です。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大宮東公民館

取組名

【地域づくり】
大宮東公民館は、学校・地域団体と協力し、地域を共につくり、地域をつなぐ拠点となります。
HIGASHI つながりプロジェクト
～大宮東公民館は地域をつなぐコーディネーター！～

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

大宮東公民館は、駐車場がなく地域の利活用者が多い。地域に密着した公民館と言える。しかし、少子高齢化、核家族化、ライフスタイルの変化から地域の連帯感が低下し、利用者も減少している。この課題を解決できるよう、公民館が主体となって、発信・提案し、地域のいろいろな団体と協力・協働できる講座を行えるようにする。そして、多くの利用者が公民館活動に参加し、「地域づくり」を行えるよう、このプロジェクトを設定した。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>
・家庭教育講演会—スマホの安全な使い方— 【小学校 PTA と共催】
・プログラミング教室 【夏休み子ども公民館で高校生がボランティア講師として参加】
・卓球教室 【利用団体、児童館との共催事業として実施】
3つの講座とも事前に、PTA 役員・高校・利用団体、児童館と何回か打ち合わせを重ね、どんな講座にするかを検討し、それぞれの役割を決め、実施した。

<取組による成果>
・事前に何回か打ち合わせを行い、「地域の事業」として公民館感が中心になって提案し、発信することができた。
・それぞれが役割をもち、協力・協働して講座を作り上げることができた。
・卓球教室では講師（年輩者）・児童館の方、参加者の小学生と、世代を超えた幅広い交流をもつことができた。
・若者の取り込み、若年層の公民館の参加には成果が得られた。

<今後の課題>
・今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、十分な打ち合わせができていく状況があったので、来年度は打ち合わせをもっと充実させていきたい。
・HIGASHI つながりプロジェクトの地域への周知を積極的に図る方法を模索したい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大砂土東公民館

取組名

【つながりづくり】

大砂土東公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

講座参加者・団体利用者とも、参加者が固定化されている傾向にある。まずは、新たな公民館利用者の掘り起こしを目指した。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

見沼区という地域をテーマとして、春野図書館や博物館、文化財保護課、見沼区役所と連携した講座「見沼区学」を実施した。

<取組による成果>

日曜日に開催したこともあり、普段の公民館講座参加者より若い年齢の方の参加がみられました。「見沼区」をテーマに座学だけでなく、フィールドワークやワークショップを開催し、地元により関心をもってもらうことができた。

<今後の課題>

各所管と連携していくには、もともとそれぞれの課所とのつながりがあるなど、その所管の得意分野をある程度知っていないと難しい面がある。各所管でどのような事業を行っているのかりサーチや情報交換が必要と考える。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 片柳 公民館

取組名

【地域づくり】

地域の小中学校と連携し、地域の伝統文化の継承を軸とした、地域づくりや多世代間交流の推進を目指した地域コミュニティづくり

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域の夏祭りを、地域有志に公民館が協力することで復活することができたが、新型コロナの影響で2年続けて中止となってしまうなど、人と人との繋がりが希薄になりつつあった。そこで、公民館のコーディネートにより、地区の小中学校とも連携を図りながら、地域の伝統文化の継承を軸とした地域住民の交流促進や多世代交流等を図っていこうと考えた。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・片柳伝統文化保存会との共催で、片柳小学校、海老沼小学校並びに片柳中学校の3校にて、各学校の音楽の授業の一環として「お囃子体験講座」を取り入れていただき、夏祭りで行われるお囃子の体験授業を行った。
- ・片柳伝統文化保存会並びに片柳中学校との共催で、一般向け（小学生以上参加可）の「お囃子体験教室」を開催した。

<取組による成果>

- ・各学校で実施した「お囃子体験講座」では、小中学生ともに全員が興味をもって積極的に取り組み、楽しく伝統文化に親しむことができた。
- ・一般募集の「お囃子体験教室」では、6歳から74歳までの参加があり、小学生に付き添いの保護者も希望で急遽参加するなど、熱心にお囃子体験に取り組んでいた。また、経験者の中高生が、練習をリードしたり、小学生を指導するなど世代間交流の微笑ましい場面が多々見られた。

<今後の課題>

伝統文化継承の視点からすると、理想的には地域の中高生等のお兄さんお姉さんたちが小学生へ指導するなど、伝統文化の継承サイクルを目指したいと考えるが、部活や勉強等のため中々参加できない状況にある。伝統教室の開催時期や実施システム自体に工夫の余地ありと考える。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：さいたま市立七里公民館

取組名

【つながりづくり】

「つながりづくり」を進めるために、図書館と連携した講座を実施します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

新たな取組みとして図書館と連携した講座を実施したいと考えたため。また、講座を実施することで、こどもの心を育み、親子の絆を深める「絵本の読み聞かせ」について地域の子育て中の親に理解を深め、子育てする中で実践していただくとともに、子育て中の親同士のつながりづくりにしたいと考えたため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

見沼区の拠点図書館である春野図書館と連携し、1歳から3歳までの幼児とその親（保護者）を対象に絵本の読み聞かせについての講座を親の学習事業として実施した。実施にあたっては、七里公民館「親子サロン」のサロンサポーターの方に講座内容についてご意見を伺うとともに、サロンで講座をPRする等協力していただいた。

<取組による成果>

親子3組の参加があり、絵本の読み聞かせについて理解を深めていただいた。また、アンケートで「他の親と話せたこと自体がよかった、すっきりした」との感想があり、親（保護者）同士のつながりのきっかけづくりができたと考える。また同じくアンケートで「いろいろな学びがあり自分も図書館にいつか来ようと思う」との感想があり、図書館利用のきっかけづくりにもつながったと考える。

<今後の課題>

令和4年度は、はじめての試みということで参加者数が少なかった。今後も継続して図書館と連携して開催し、地域での認知度を上げて参加者数増を目指し、子育て中の親同士の「つながりづくり」を進めていきたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：春岡公民館

取組名

【つながりづくり】

春岡公民館は、地域住民のつながりの場となるため、公民館まつりを開催し、地域住民に向けて情報発信する事で、公民館活動の活性化を図ります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

春岡公民館は、コロナ禍で中断していた春岡公民館まつりを再開し、新規に公民館活動を始める人のために情報を発信する事で、公民館活動の推進が見込まれたため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

・出前公民館「椅子ヨガ」（春野図書館と互いに役割分担し、図書館を会場に共催。謝金は図書館が負担。講師は春岡公民館の紹介。）

<取組による成果>

・普段、図書館を利用し、公民館を利用していない運動習慣（※公民館利用者の平均年齢が高いため、後期高齢者向けの体操教室は、運動習慣のある方には物足りない事情がある。）のある個人の方にも、（※公民館は個人利用を許可していない制限あり）講座に参加する機会を提供できた。

<今後の課題>

・コロナ禍が終息し、公民館活動に取り組みたい個人から問い合わせが増えているが、コロナ禍で登録サークルもメンバーの増員に消極的なため、受け入れ態勢が整っていない現状を打開し、より多くの方が公民館活動に参加できる情報収集が必要。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：鈴木公民館

取組名

【つながりづくり】

鈴木公民館は、「学びたい」という地域住民のニーズに応えるため、図書館と連携した事業を進めるとともに、誰もが気軽に立ち寄れる場を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

同じ公共施設でありながら、公民館と図書館を利用する層は異なっていることから、両館が連携した事業を展開することにより、お互いの施設をより多くの市民に利用してもらおうきっかけを作りたい。また、日ごろ公民館を利用しない方々にも気軽に公民館を訪れてもらいたい。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・6月2日、9月1日実施の鈴木公民館子育てサロンにおいて、与野図書館職員による絵本の読み聞かせや人形劇を行った。
- ・ねんりん大学の一コマとして10月14日に与野図書館の見学ツアーを実施した。

<取組による成果>

- ・子育てサロンでは、普段と違い、図書館職員が読み聞かせや人形劇を行ったことで参加した子どもや保護者も一層楽しむことができた。
- ・図書館の見学ツアーでは、本を用いたゲームをしたり、普段立ち入ることのできない場所に入ることができ、参加者の満足度はとても高かった。また、公民館の利用者に図書館を知ってもらう良い機会となった。

<今後の課題>

- ・今後も継続していきたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 大戸 公民館

取組名

【つながりづくり】

大戸公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりづくりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

・地域との関わりを持ちにくく地域の中で孤立する若い世代や高齢者が増えている。公民館を拠点として交流を図ることによりつながりづくりをする。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・児童センターと連携して1～3歳児と保護者が遊びながら交流できる子育てサロンを実施した。
- ・高齢者学級では保健センターと連携して口腔ケア講座を実施した。
- ・公民館写真サークルによる地域の写真作品展を公民館ロビーで実施した。

<取組による成果>

- ・子育てサロンは、大戸公民館の講座に初めて参加した人が多かったが、子育て世代の参加者同士が交流することができた。
- ・公民館写真サークルの活動を通じて地域の魅力を伝えることができた。

<今後の課題>

- ・地域の人材や団体と連携を図りながら、参加者の意見を取り入れることでニーズとマッチングできるつながりづくりの場を提供していくこと。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：与野本町公民館

取組名

【つながりづくり】

歴史を通して中央区（旧与野市）の魅力を伝えることを目的とした学びの提供

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

中央区のほぼ中央に位置する本町通りは、昔、市場町として栄えていたが現在、街並みが時代とともに変化しつつある。与野本町公民館は、地域の方々と共に地元の歴史に触れ、地域への誇りと愛着を育みたいと考え、今も残る本町通りの歴史的面影を紹介する動画作成に取組んだ。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

本町通りの中でも特にシンボリック的存在となる建物の解説文を作成。文章ができた個所については家主を訪れ、文章および建物の外観写真掲載許可をお願いする作業も並行して行った。文章表現にこだわる家主もあり、調整に少し時間がかかった。

＜取組による成果＞

現在、与野西中学校の放送委員会に解説文の音声録音を依頼中。

＜今後の課題＞

音声録音終了後、動画の完成および公開を目指す。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：上落合公民館

取組名

【つながりづくり】

上落合公民館は、地域の人や情報を共有するための拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域の情報を求めて公民館に来館される方に対して、区役所等からの刊行物、配布物を案内するのみで、地域について公民館独自に提供できるものがなく、地域のための施設としての役割を十分果たせていないため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・四半期に一度、テーマを設定し、掲示物を作成し、関連するチラシを近くに配置し、情報がわかりやすいようにした。
- ・社会福祉協議会などに地域で行っている活動等について、資料を作成してもらい、掲示した。
- ・地域を知る講座を4講座行った。

<取組による成果>

- ・掲示板の前で掲示内容について話をしている利用者も多く、チラシの減りも早かった。テーマを設定したことで、公民館から伝えたい情報を住民の方に周知することができたと思う。

<今後の課題>

- ・公民館で地域の情報を発信していること、発信したい情報があれば公民館を活用できることを地域に知ってもらうこと。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：下落合公民館

取組名

【地域づくり・つながりづくり】

下落合公民館は、「地域づくり」「つながりづくり」を追求するため、より効果のある防災知識を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

より多くの地域（下落合地区）の方々の参加を促すため、下落合地区社会福祉協議会との共催を図り、より一層のつながりづくりをする。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

下落合地区社会福祉協議会との共催事業として、テーマを絞った防災講座を2回実施した。

<取組による成果>

日頃より下落合地区とのつながりをもつ下落合地区社会協議会との共催により、多くの地元の方の参加を募ることができた。また、講座を通して防災知識を学ぶ場を提供し、地域とのつながりを図ることができた。

<今後の課題>

下落合公民館と地元地域（下落合地区）とのつながりづくりは概ね達成したため、今後は地域の方々に自主的に学びの場所として公民館を有効にかつ、気軽に利用いただけるよう働きかける。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：田島公民館

取組名

【つながりづくり】

田島公民館は、地域の方々が「人とつながる」、「地域とつながる」ための交流の場の拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・多世代の交流の場となっている子育てサロンや高齢者サロン等をボランティアスタッフとの協働により継続するため。
- ・桜区役所総務課や桜図書館等と連携しながら、より多くの知識や情報を提供するため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

（注）修繕工事のため令和4年度は7月～3月休館

- ①図書ボランティア協働「おひさま文庫」6回
- ②読み聞かせボランティア協働「おはなしと工作」3回
- ③子育てサロンボランティア協働「子育てサロンたんたん」3回
- ④高齢者サロンボランティア協働「高齢者サロンはなみずき」3回
- ⑤桜図書館共催「お江戸講座③」（全2回）
- ⑥桜区防災アドバイザー講師「子育て応援講座」1回

<取組による成果>

- ①～④サロンは参加者同士、またスタッフと参加者との交流の場となった。
- ⑤桜図書館からは、講座の内容だけでなくそこから派生した多くの資料を提供いただき、受講者の満足度も高く好評だった。
- ⑥地域のアドバイザーによる身近な情報の提供は、乳幼児の保護者に好評だった。

<今後の課題>

・サロンによってはボランティアスタッフの参加が少なく、職員の補助が必要となるものもある。令和4年度はリフレッシュ工事で長期間休館となったため、今後新たなスタッフの募集に取り組む必要がある。現スタッフとの調和も考慮し、どの世代をどのように募っていくかが課題である。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 土合 公民館

取組名

【つながりづくり】

土合公民館は、地域の方々のつながりづくりの拠点となれるよう、地域の特性を活かし住民相互、関係機関・団体との連携に努めます。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域の方々や若者が社会貢献できる機会の創出が必要と考える。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・春・秋の花いっぱい運動
みどりボランティアによる400株の花苗の植付け、花の手入れ
- ・高校生・大学生が講師を務める公民館講座の実施

<取組による成果>

- ・みどりボランティアの方々が育てた花を館内にも飾り、館内外の環境美化が推進され、利用者から好評を得るとともに、こうしたことから利用者と公民館職員との信頼関係やコミュニケーションの一層の向上が図れた。
- ・近隣の学校及び社会福祉協議会との連携事業では、高校生や大学生が小学生に熱心に指導し世代間の交流が図れた。学生からは主体的に社会貢献する意欲が見られ、この体験によって更なる社会貢献活動に期待が持てた。

<今後の課題>

- ・みどりボランティアは参加者の高齢化と固定化で減少傾向にあり、継続的な活動のためには新規参加者の確保が課題となる。
- ・未来を託す若者がボランティア活動を通じて社会の中で直接体験を積み、自立できる大人になるために、公民館が体験機会を創出することも必要と考える。そのため、関係機関と連携したボランティア養成事業を継続する。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大久保公民館

取組名

【地域づくり】
水害に対する防災力の強化

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

大久保地域内には荒川・鴨川が流れており、河川氾濫時には他区への広域避難が必要になるなど、水害への備えが重要な地域であると考えているため

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・ 防災講座「大久保ジュニア防災マスターになろう！（水害編）」
期日：令和4年11月5日（土）（対象：大久保地域在住の中学生）
- ・ 防災講座「気象災害と気象情報の利活用」
期日：令和4年12月15日（木）（対象：市内在住の成人）

<取組による成果>

中学生対象の「大久保ジュニア防災マスターになろう！」については、桜区総務課との共催事業とし、参加者には防災グッズなどを配付した。
また、近隣中学校や青少年育成会とも連携して実施した。来年度に向けて協働の足掛かりになったと考えている。

<今後の課題>

今年度実施した防災講座の申込みがあまり多くなかった。特に、若い世代に参加してもらうためにはどうしたらよいか、近隣中学校に早めの段階から相談するなど検討していきたい。
また、青少年育成会に企画段階から参画してもらうなど、地域との協働をより意識していきたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 栄和 公民館

取組名

【地域づくり】

地域と共につくり、後継者をつくり、地域文化を継承する拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域住民の高齢化と転入世帯の増加により、地域の伝統文化である櫓太鼓の後継者を育てることが急務となっている。

さらに、サークルの様々な問題を洗い出し、人数が少なくなった、指導者がいない等、これらの解決も考えていくべきである。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

夏休み子ども公民館で栄和地区と道場地区から1人ずつ指導者を招聘して櫓太鼓教室を行った。

＜取組による成果＞

伝統芸能である櫓太鼓を経験できた子どもたちが増えたことである。

＜今後の課題＞

コロナ禍であり、櫓に上がり太鼓をお披露目できる場がないのが問題である。披露する場が復活できることと、回数を増やせるといい。

談話コーナーを活用し、サークル活動の展示や発表の機会を増やし来館者へ興味を持ってもらい、活動が活発になるよう努力が必要である。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大久保東公民館

取組名

【つながりづくり】国籍、性別や年齢、障がいの有無などに関係なく誰もが利用できる場、持続可能で地域の人々と共に支え響き合う多様性のある居場所づくりを目指します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

外国人も多く様々な格差や分断がみられるため、その是正を図ることやセーフティネットを形成するための「つながり」に重点を置く。荒川氾濫時は浸水想定区域内にあるため、水害対策にも力点を置く。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・外国人に寄り添うため「日本語ボランティア」の支援を行った。
- ・異文化交流及び理解として、モスクを訪問する講座を開催し、日本語ボランティアを育成した。
- ・高齢者の居場所づくりとして包括支援センターと連携した。
- ・連続の水害対策講座から「防災サークル」を発足し、桜区の他館でも啓発の展示を行った。

<取組による成果>

- ・日本語ボランティアは、学習者（外国人）自らもボランティアとして活動し、人員も増員した。
- ・「防災サークル」は、月に1，2回の活動を行い、防災啓発活動等を実施。桜区公民館、消防署、公民館利用者と連携し避難訓練を行った。
- ・公民館で行われる「介護相談窓口」の利用者が増えた。
- ・上記、取組みは継続できるように配慮しながら行ってきた。

<今後の課題>

- ・サークルや地域の活動はさかんになってきている。今後はその活動同士をつなげるための仕組み作りをどのように構築していくかが課題である。
- ・世代間交流を図るため、埼玉大学生との連携にも取り組んでいるが、単年度で終わることが多いのが課題である。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：岸町公民館

取組名

【地域づくり】

岸町公民館では、地域の民生委員や地区社協などとの協働により、地域が
つながる取組を実施します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

昔からの住民と転入による新たな住民が混在する地域である。見守りが必
要と思われる高齢者や孤立する子育て世代の方もいる。また、核家族が増
え、地域のつながりが薄くなってきているため、公民館を拠点として各世代
のつながりが必要である。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・地域の民生委員や地区社協との協働で行った「ぷらっとサロン」（子育て
世代向け）は、15回開催し、346人の参加があった。
- ・浦和一女との連携事業として、社会教育士である図書館司書と協働し、
ビブリオバトルを実施した。中学生8人の参加があり、高校生との交流を
図った。

＜取組による成果＞

- ・地域の民生委員や地区社協と連携して、子育て世代の事業を行ったこと
により、情報交換や仲間づくりの支援をすることができた。
- ・浦和区内の公民館で活動する書道・篆刻グループによる合同作品展を実
施したことにより、日頃の学びの成果を発表する場を設けたことで、公民
館活動を広く知ってもらいきっかけづくりができた。

＜今後の課題＞

高齢者向けの事業と子育て世代を含む若者向けの事業とのバランスを図り
ながら、人との関わりを必要とする住民に満足していただけるような事業を
企画する必要がある。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：領家公民館

取組名

【地域づくり】

領家公民館は、地域のボランティアや民間団体などとの連携により、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・子育て世代の孤立化が進み、交流する場を求めている。
- ・ひとり暮らしの高齢者や核家族が増加している傾向がみられ、介護や医療についての学びや情報提供が必要。

令和4度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・育児ボランティアを募集して、定期的に子育てサロンを実施した。
- ・地域包括支援センターと連携して、理学療法士から学ぶ体操と介護保険制度などの基礎知識を学ぶ講座を実施した。
- ・さいたま市民の日にあたり、公民館とともに地域の学びを支える自治会との一体感を醸成するため、自治会老人会趣味の作品展を実施した。●館報

＜取組による成果＞

- ・地域の育児ボランティアと連携して、子育て世代の情報交換や仲間づくりを支援することができた。
- ・地域包括支援センターと連携した講座の実施により、公民館に普段足を運ばない層に関心を持って参加いただき学びの機会を提供することができた。
- ・作品展の実施により、日頃の学びの成果を発表する場を設けたことで、自治会老人会の活動を広く知ってもらいきっかけづくりができた。

＜今後の課題＞

コロナ禍による影響で、令和4年度も文化祭やふれあいコンサートなど、地域との連携・協働事業が変更・中止を余儀なくされた。今後も地域づくりに取り組んでいくうえで、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象にした支援事業を、地域と連携して継続・展開していく。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：浦和南公民館

取組名

【つながりづくり】

浦和南公民館は、地域住民に様々な学びの場や活動の場を提供するとともに、気軽に立ち寄れる地域の交流の場や情報発信地として、人々のつながりづくりの拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

昔ながらの閑静な住宅地が広がり大きい集合住宅も少ないため、地域住民は高齢層が多く若年層が少ない傾向である。高齢者の公民館利用は活発であるが、子育て世代や若者の利用が少ないのが現状である。そこで、幅広い世代が利用するきっかけとなるような親しみやすい取組が必要であると考え、更に充実した学びや活動の場を提供するものである。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

市内の施設活用や文化、産業を活かした事業を計画した。

◎施設活用に関するもの（管外学習）

- ・盆栽教室/1回目：盆栽美術館見学(介護予防事業)
- ・夏休み子どもランド/ボルダリングに挑戦
- ・大人の社会科見学/造幣さいたま博物館(一般)

◎文化・産業等の活用に関するもの

- ・盆栽教室/2回目：ミニ盆栽づくり

<取組による成果>

近くにあるのに訪問する機会がなかったとの理由で講座に参加された方も多くいた。参加後は、「新たな発見があった」との意見や、「参加者同士や公民館職員と交流ができて楽しかった」との感想をいただくことができた。

<今後の課題>

高齢層のつながりづくりは徐々にできているが、若年層も含めた様々な世代が交流しつながっていける地域を目指し、若い世代が気軽に立ち寄り利用できるような取組をしていきたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：上木崎公民館

取組名

【つながりづくり】

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

利用者の高齢化が進んでいる地域のため、地域の方たちが、気軽に集い、交流できる場を提供する。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・来館者とのあいさつや会話を大切にした。
- ・地域のニーズを拾い上げ、事業を実施した。

<取組による成果>

地域の方たちから感謝の言葉をいただく機会が増え、気軽に集い、交流する場を提供することができた。また、地域のニーズを反映して『野菜ソムリエから学ぶ夏野菜』の事業を実施し、好評で、秋野菜や冬野菜を希望する声があった。

<今後の課題>

令和5年度に、大規模改修工事が予定されている。
地域や来館者とのコミュニケーションを大切にして、風通しの良い公民館として、地域とのつながりを育んでいく。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：大東公民館

取組名

【つながりづくり】

大東公民館は、地域住民の学びの拠点として、人々が気軽に集い交流できるつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

利用者アンケートの結果、地域住民からの声として、身近な学びの場・交流の場としての公民館であってほしいとの要望が多数あったため。

令和4度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・地域住民が交流を図れる講座として、「子育てサロン」や「生きがい健康づくり教室」などの講座を企画・実施した。
- ・ICTの進化に住民が取り残されないよう情報格差の解消のため「初めてのスマートフォン体験教室」を企画・実施した。
- ・公民館利用サークルと協働で、さいたま市民の日に子ども書道作品展を開催した。

<取組による成果>

- ・「生きがい健康づくり教室」参加者が、自主サークルを立ち上げた。利用者同士のつながりを深めることに貢献することができた。
- ・「初めてのスマートフォン体験教室」参加者から、もっと回数を増やして多くのことを学びたいという意見をいただいた。ICTに関する需要の多さを認識することができ、翌年度への企画に繋げることができた。

<今後の課題>

- ・どの講座も男性の参加割合が少ない。地域でのつながりを深めるため、男性の参加者を増やす工夫が必要である。
- ・参加者の高齢化と、マンネリ化が進んでいる。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 仲本 公民館

取組名

【つながりづくり】

仲本公民館は、地域の様々な世代の方々の「つながりづくり」を進めるための事業を実施します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

公民館利用者の年齢層は高齢層が多く、中～若年層が少ない傾向にあるため、幅広い世代が利用するきっかけとなるような取組が必要である。また、地域の特性として子育て世代が居住する集合住宅が複数あることから、中～若年層の利用も視野に入れるべきである。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

幅広い世代ということで、まずは未来の利用者へ向けて地域に魅力を感じられるように、地域に愛着を感じる講座「冬休み子どもまつり」を青少年育成仲本地区会及びなかもと子ども会との共催で開催した。

＜取組による成果＞

地域への興味・関心を高めるため、仲本地区で集めた木の実を使った工作やゲーム大会等によるレクリエーションで参加者と地域の方々との交流を深めながら、地域へ愛着を感じるきっかけづくりができた。

＜今後の課題＞

今後、地域への興味・関心をさらに深めるため、地域の方（育成会・子ども会等）が企画運営へ積極的に参加できるような連携を図ることが必要である。
具体的には、地域の方へ工作に使う地域の材料集めや、地域情報の収集についての協力呼びかけなどが挙げられる。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：針ヶ谷公民館

取組名

【地域づくり】

針ヶ谷公民館は、地域に即した学びの場として、地域の誰もがいつでも気軽に快適に学ぶことができる環境を提供する公民館を目指します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

針ヶ谷公民館と地域の距離感が非常に近く、地域住民はあらゆる年齢層において、学びの意欲が高く公民館への期待度も高い。世代に応じたきめ細かく柔軟な事業企画と公民館運営、および先進的で質の高い学びの提供が求められている。

令和 度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・子育て世代向けに月齢別親子参加、複合型プログラムによる通年親子体験型学級「針ヶ谷すくすく学級」「のびのび学級」を実施。
- ・公民館報掲載「我がふるさと針ヶ谷」執筆者（地域住民）による同名講座の実施。
- ・地域の方による「新・我がふるさと針ヶ谷」の公民館報への寄稿。
- ・地域在住の各分野の専門家や針ヶ谷公民館利用団体を講師に招いての公民館主催事業を企画

＜取組による成果＞

- ・子育て世代や親子参加型講座の積極的な実施により、こどもや若い年齢層、学童期の保護者の来館が増加した。
- ・公民館報を介しての地域へ積極的に情報発信を行うことにより、地域間・住民間でのコミュニケーションの円滑化、連携強化に繋がった。
- ・地域在住の専門家や針ヶ谷公民館利用団体へ講師を依頼しての主催事業実施により、地域住民間の距離が縮まり、地域の世代間交流にも繋がった。

＜今後の課題＞

- ・子育て世代への継続的な「居場所」「学び」「育ちの場所」の提供。
- ・高齢者向けICT講座・リテラシー向上の継続提供。
- ・「質の高い学び」「魅力ある学び」の提供に向けて、主催事業や講座企画のブラッシュアップ及び職員の知識・スキルの向上。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 本太公民館

取組名

【人づくり】

本太公民館は、地域の人々の学びのきっかけとなり、様々な学びを提供する拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

古くからある公民館であり、地域の中心的な存在である。昔からの住民も多く、親しまれている。

コロナウイルス感染対策により、障害者による「地域の輪」事業が中止となり、公民館に足を運ぶ機会がない障害者と地域の方々と交流する場がなくなり、互いを理解するきっかけ作りが出来ないのが課題である。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・地域包括支援センター、大宮盆栽美術館、病院等と連携しながら、地域住民の交流をテーマとした高齢者学級「コスモス学院・本太」（年間19回）を実施した。
- ・多くの方々が受講できるよう、前期、後期の二期制にして、後期は抽選に変更して学ぶ機会を均等に提供している。
- ・本太公民館グループ「ぶんぶん文庫」が毎月2回、午後2時～午後4時まで本太公民館で本の貸出をボランティア活動している。貸出日には、おたのしみコーナー（工作、読み聞かせ、季節行事等）を実施した。

＜取組による成果＞

- ・これまでのコスモス学院・本太の経緯や受講者の意向を尊重し、講座内容を選定することにより、満足度の高く、質の高い講座の実施ができた。受講者もまた、参加したいという要望が強い。
- ・ただ話を聞いているだけでなく、意欲的に質問する受講者がいたり、身体を動かしたり等の講座では、受講者の興味が高まり、みんなで一緒に受講することで学習の相乗効果が高まった。
- ・本太公民館グループ「ぶんぶん文庫」が毎月2回にわたり本を貸出し及びイベントを開催にあたり、子ども及び親が公民館を利用することで、公民館の知名度及び認知度の向上を図ることができた。

<今後の課題>

・講座の内容によって受講者の応募状況にばらつきがある。やはり、大切なことは質の高い講座を提供することであり、そのためには、日ごろから講座や講師について情報収集に努めていきたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：仲町公民館

取組名

【つながりづくり】

仲町公民館は、地域住民の交流促進を目的として、地域の皆さんと連携・協働して高齢者学級などの講座を開催します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

仲町公民館が所在する地域は、浦和駅から近く利便性も高いため、古くからある住宅等が続々とマンションに建て替わっている地域である。
そうした中、新たな住民も増えており、地域住民の交流を高める意味を持つ講座等の開催の必要性が高まっているため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

高齢者学級においては、単に健康や安全に関する講座を聴講するだけではなく、参加者が自主的に受付や会場づくりをするなど自ら能動的に動いていただくことで、他の参加者とのコミュニケーション作りに寄与するよう開催方法を工夫している。

<取組による成果>

高齢者学級においては、参加者同士のコミュニケーションが活発になり、公民館事業以外の他の自主学習グループに複数参加するなど、公民館に来ること自体が目的となっていると思われる参加者が多く見受けられる。高齢者の生きがいづくりやコミュニケーションづくりへの成果を感じている。

<今後の課題>

高齢者層の「つながりづくり」にはある程度の成果を感じているが、もう少し若い年齢層の取り組みが必要と感じる。街中ということもあり、「つながりづくり」には難しい地域ではあるが、様々な知識や技術を持つ方が多い地域であることも確かなので、そのような人材を発掘して公民館事業等に生かすとともに、多世代に渡る交流を高めていくことが課題と感じる。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：常盤公民館

取組名

【地域づくり】地域の講師・ボランティア等の地域資源を積極的に活用しながら事業に取り組む

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

子どもの本ばなれが進み「個」であることが問題になっています。常盤公民館では本の力を借り、本との出会いや集団で集うことの楽しさを取り戻す営みの一つとして、「ともだち文庫」「子ども公民館」「子どもまつり」「e公民館」を行いました。

令和4度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞
地域の講師・ボランティア等の地域資源を積極的に活用しながら事業に取り組むことにより、地域づくりを醸成しました。
さらに、当該資源を、「e公民館」にも活用することで、学習機会の拡充を図りました。

＜取組による成果＞
子ども達や親子が公民館に普段の日から本を借りに来ていました。
子どもの保護者がボランティア（世話人）に加わりました。若手ボランティアの育成は学びの循環にもつながっています。「子ども公民館」「子どもまつり」では、地域のボーイスカウトやガールスカウト、子ども会が参加し、地域づくりにつながりました。

＜今後の課題＞
経費的にも公民館とともに活動を行っていますが、地域での持続可能な営みへとさらに発展させておく必要があると考えます。
将来、子どもたちがボランティアとして活動できる学びの循環も進めていきます。

令和4年度 公民館ビジョン取組シートの振り返りシート

北浦和公民館

取組目標

【人づくり】

誰もが使いやすく、明るく、居心地の良い学びの場づくり

取組目標を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

以下の主な要因や背景から、上記取組目標を設定した。

- ・隣近所とのつきあいを好まない人の増加。
- ・身近な話し相手が必要となる高齢者の1人暮らしが増加。
- ・慣れない土地で、様々な生活上での悩みをなかなか相談できない新しい住民の増加。
- ・コロナ禍による、人の繋がり希薄化。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・主な取組としては、様々なジャンルから講師を招聘して、高齢者を対象に各6回×2 計12回の友遊塾を開催した。単なる講座の提供にとどまることなく、公民館・講師と参加者の協同により内容を深めていけるよう運営した。

<取組による成果>

- ・講座の内容を健康・生活・創作活動・文芸・音楽・文芸（映画）と6領域で構成し大変好評であった。
- ・講座の資料に関しては、事前に講師と協議を重ね、講座の資料作成について文字の大きさや絵の濃さなど見やすいものとなるよう高齢者にも分かりやすいよう配慮して作成した結果、分かりやすいと好評であった。
- ・本講座に限らず、全職員が笑顔で挨拶・声掛けを心掛け、地域の方々から、「私たちの居場所をつくってくれてありがとう」等のお言葉を頂戴した。これに慢心することなく、今後も居心地の良い学びの場づくりに邁進していきたい。

<今後の課題>

- ・コロナ禍の実施ということ踏まえ、換気等十分に留意するとともに、参加者の座席配置（隣を空けたり、列をずらしたりして配置）、さらに全員マスク着用を義務付けた。また、講師の席には透明ボードをおき、マイクを活用するなど感染防止に努めた。講座によっては、手に触れたり飲食したりする内容も予定されていたが、一部講座内容を割愛・変更を余儀なくされた。今後も講座の開設については、より一層留意しながら企画・運営していきたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 南箇 公民館

取組名

【つながりづくり】

南箇公民館は、明るく、居心地の良い学びとつながりづくりの場を目指し、地域の皆さんが気軽に立ち寄れる場所となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

南箇公民館地域は、住宅街で公園も少ないことから、年代を問わず気軽に立ち寄れる場を目指す。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・地域ボランティアの皆さんや木崎中学校特別支援学級の生徒と共に、駐車場のプランターと花壇の植え替えをした。そのつながりを生かし親子を対象にしたクリスマスコンサートに生徒もハンドベルによる演奏で参加した。
- ・ロビーを利用してミニギャラリー展を開催し、地域の方や公民館活動サークルの作品を展示した。

<取組による成果>

- ・7～8年前より木崎中学校特別支援学級の生徒と交流があり、その成果として親子を対象にしたクリスマスコンサートに参加することができた。
- ・ミニギャラリー展では個人によるリサイクルの着物や古布を使った作品展示を開催し、利用者や地域の方々が作品を鑑賞し賑わった。また、楽しみながらSDGsについて学ぶことができ、大変好評だった。

<今後の課題>

- ・花の植え替えを手伝ってくださる地域のボランティアが減ってきている。
- ・学校との取り組みは、担当者の異動等もあり今後の継続は予想できない。
- ・ミニギャラリー展の参加団体を増やし、年間を通してミニギャラリーを開催したい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：文蔵公民館

取組名

【つながりづくり】

文蔵公民館は、だれもが気軽に立ち寄れる「地域住民の交流の場・学びの場を提供します」。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

コロナ禍により、地域住民の触れ合いや・交流の場が少なくなっていたので、あらゆる世代の方々に事業を展開することで、地域の『つながりづくり』のきっかけを提供する必要があると考えたため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

子育て世代向けに『ちびっこワイワイひろば』、子供向けに『夏休みこども公民館』、シニア世代に『高齢者学級「あかつき学級」』、全ての世代の方々へ『クリスマスコンサート』を実施した。また、地域の食生活改善推進員協議会と連携し『大人の食育講座』を実施した。

<取組による成果>

各講座・事業等で、参加者同士が交流する姿や、講師と交流する姿が見られ、『つながりづくり』のきっかけを提供できたものと考えている。

<今後の課題>

5年度以降も長期計画の中で取り組むことにより、成果が表れてくるものと考えられるので、あらゆる世代が気軽に参加できる、バランスの取れた事業計画を立てていく必要がある。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：南浦和公民館

取組名

【人づくり】

地域の人々の学びのきっかけとなる場となり、様々な学びを提供する拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

コロナ禍のもと、在宅で情報収集や発信することが求められる社会に急激に移行しつつある中、情報端末機器に不慣れな方が、在宅で情報の収集や発信できることを目的とした学びの提供（事業等）を実施する必要があると考える。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

地域の住民の皆様が不安なくネット社会に適応できるよう、シニア向けスマホ教室事業を実施した。

- ・ 9月28日（水）、10月5日（水）の2回連続講座【定員 20人】
受講者 9月28日【20人】 10月5日【19人】

<取組による成果>

受講された方々はスマホでの通話やカメラ以外の機能について、テレビ等から得た情報などをもとに、新たな機能の発見（音声入力等調べ物の検索機能、LINE、メール、地図）があり、受講後は自ら進んでスマホでの情報収集などを行うようになった。

<今後の課題>

今回は定員20人の枠に対し、30人を超える申し込みがありました。シニアの方々の関心が高く、スマホ教室開催の需要があることから、引き続き、次年度以降も大勢の方々に受講していただけるよう実施方法を工夫したい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：谷田公民館

取組名

【つながりづくり】

谷田公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民の交流の場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

・古くからある公民館であり、地域の中心的な存在であり、昔からの住民に多く親しまれている。これは、利用者が高齢者に偏っているとも言える。そのため、地域住民の多世代交流の機会が必要ではないかと考える。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

・谷田公民館地区内に位置する大谷口中学校と連携し、地域住民の交流を目的として、コロナ禍前は毎年実施していた「春のコンサート」を三年ぶりに実施した。

<取組による成果>

・「高齢者世代とそれ以外の世代との交流を狙いとしたが、高齢者も生徒たちの発表をあたたかな眼差しで見守り、また生徒たちも地域住民への発表の場を得ることができた喜びを感じており、一定の成果があったと思う。

<今後の課題>

・今後は中学生世代よりも、下の世代との交流機会が持てるよう検討したい。また「春のまつり」・「秋のまつり」を開催し、より一層地域住民の交流を深めることができるよう努めていきたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：六辻公民館

取組名

【人づくり】

六辻公民館は、市民ニーズや現代的課題の解決に対応した多様な学習機会を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

コロナ禍により地域住民の関係が希薄になり、多世代の交流機会が少ないなか、子育て世代の親子や高齢者に居場所や交流の場を提供し、参加者同士の新たなつながりや地域の担い手を作ることが必要であると考えたため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- 令和4年5月19日 … 六辻学級《医療講座》「かかりつけ医について」
講師：高田内科クリニック院長
- 令和4年6月18日 … 工作教室「タイルアートを作ろう」
講師：根岸3丁目自治会長
- 令和4年8月6日 … 夏休み子ども公民館「卓球教室」
講師：ひまわり（卓球サークル）会員
- 令和5年2月9日 … 写真の撮り方教室
講師：六写楽フォトクラブ会員（自治会役員）

<取組による成果>

講座の受講者が受講者同士で交流する様子や、講師と交流し地域とのつながりを深めている様子が確認された。地域に愛着を持つ地域の担い手作りに貢献することが出来たと考えられる。

<今後の課題>

より幅広い地域の方々にご参加頂くためには、様々な内容の事業を企画する必要がある。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：西浦和公民館

取組名

【人づくり】

西浦和公民館は、市民ニーズや現代的課題の解決に対応した多様な学習機会を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

昨今、情報機器の著しい進歩により、ICTを利用することで、生活が大変便利になった。反面、使い方を誤るとネット詐欺、迷惑メール等、事件に巻き込まれる危険性も大きい。そのためICTに関する正しい理解・使い方を広く地域の方々に学ぶ機会を提供したい。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

「暮らしに役立つスマホ活用術」として主催講座を3回に渡り、実施した。各回、指導者2名で2時間に渡り、「スマホの基本操作の確認、便利なサイトの紹介」「基本アプリの活用、おすすめアプリの追加」「快適に使うための設定の変え方、ネット詐欺の注意点」についてお互い共有し、学習した。

<取組による成果>

「これまでスマホの機能がよくわからず、使えなかった機能を安心して使えるようになった。」「スマホを使って、市の防災情報を見ることができるようになった。」「ICTの誤った使い方による危険性や正しい理解のもとでの操作法等を学ぶことができた。」等の意見が多く、成果がみられた。

<今後の課題>

ICT、特にスマホに関する講座は、高齢者の受講希望者が多い。そのため講座の回数を増やしたり、内容を初級者向けと中級者向けに分けたりする等、さらに個々のレベルや要望に応じた学習内容の工夫をしていく必要がある。災害発生や緊急事態の時にすぐに情報が入手でき、次の行動が取れるよう、ICTの積極的、効果的な活用を進めていきたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：別所公民館

取組名

【人づくり】

別所公民館は、「地域住民の交流の場」、「学習コミュニティ」としてのネットワークを構築し地域人材を活用することを通して人づくりを推進していきます。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

別所公民館の周りには、遺跡や民話等、古くから伝わる言い伝えが残されており、地域の歴史に愛着と誇りを持たれている方が多い。一方、他地域から転入された振興住民も増えており、地域の歴史に興味・関心を持たれている方も多。そこで地域人材を活用することにより、地域の歴史を通じた学習コミュニティを構築することによるつながりづくり、また、学習コミュニティの成果としての人づくりが達成されることを目標にしたい

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

令和4年度は、まず地域とのつながりを持つため、『別所』の歴史をテーマに公民館主催講座を3回実施した。

地域歴史講座 ～わが町別所と浦和の歴史～

<取組による成果>

地域歴史講座のアンケートから「自分たちが住んでいる地元の歴史」をもっと知りたいという参加者の興味・関心度の高さを確認することができた。また地元の歴史を知る取組から、人とのつながりや出会いを期待するという声も多く「人づくり」だけでなく「つながりづくり」についても一定の成果を得られたと考える

<今後の課題>

今後は、歴史研究サークルに呼びかけて、地域プロジェクトを立ち上げるとともに①公民館内に「別所の歴史コーナー」を設置、更に ②サークルの方が主体となった地域歴史講座を実施し、地域歴史をテーマとする「学習コミュニティ」の活動を支援することで「ひとづくり」を推進していきたいと考える。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 東浦和公民館

取組名

【 つながり づくり 】

東浦和公民館は、地域の子どもから高齢者まで多世代が気軽に集い、交流できる学びの場を提供します。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

コロナ禍により地域住民の関係が希薄になり、多世代の交流機会が少ない中、夏休みこども公民館の講師を当館登録サークルのメンバーや地域の中学生からお迎えし、教える側、学ぶ側の双方が楽しみながら交流を深められる場を提供する。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ①令和4年7月27日 … 夏休みこども公民館「こども将棋」
講師：将棋クラブ
- ②令和4年7月27日 … 夏休みこども公民館「ピンポンを楽しもう」
講師：若葉卓球クラブ
- ③令和4年8月 3日 … 夏休みこども公民館「にこにこ文庫の工作教室」
講師：にこにこ文庫
- ④令和4年8月 5日 … 夏休みこども公民館「影絵を楽しもう」
講師：かけ影グループ「夢」

<取組による成果>

サークルメンバーが小学生に指導したり、地域の中学生がボランティアとして参加したり、小・中学生から高齢者まで幅広い年齢層が講座に集い、新たな交流を生むことができた。

<今後の課題>

教える側の積極的な姿勢や教わる側の学習意欲が感じられたことから、多世代が楽しみながら学べる場として、引き続き事業を継続していきたいと考える。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：善前公民館

取組名

【 つながり づくり 】

善前公民館は、地域住民の皆様やサークル活動をしている皆様との交流を促進し、『つながりづくり』を創出する拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

取組にあたり、公民館で活動する“サークルの活性化”が不可欠と考えサークル会員募集の広報を強化し、多くの住民の目に触れるような仕組みを作ることで、新しい世代を取り入れながら活性化して新しいつながりが醸成されると考えた。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

利用者懇談会（6月）や公民館報（8月号）でプロジェクトについて説明し、団体の特徴やメッセージが載せられる原稿様式を作成し配布。公民館ホームページ内に会員募集团体コーナーを作成。運動系、文科系、キッズ系に分けた一覧表及び募集原稿様式を掲載し自宅からでもダウンロードできるようにした。

紙の一覧表については、公民館入り口通路の動線に館報と一緒に配架した。一覧表の内容は随時更新とした。

入会希望者は公民館に連絡をし、職員が各団体と連絡を取るなどの仲介役を務めた。

公民館報10月号より毎月2団体ずつサークル会員募集記事の掲載を開始した。

<取組による成果>

22団体が募集原稿を提出し、一覧表を作成。

10月以降 約50名の見学依頼があり36名が11団体に加入した。

<今後の課題>

・サークルの活性化においては、一定の成果があったので、今後はサークル活動成果の発表、文化祭への参加に繋げる仕掛けづくりが必要。

・サークルと地域住民との接点の創出。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 大古里 公民館

取組名

【つながりづくり】

大古里公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

三室の地にゆかりのある、児童文学者 石井桃子さんについて、より深く知り、郷土の歴史や文化に親しむことを通して、地域のつながりづくりを深めると考えた。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

児童文学の礎を築いた文学者の一人である石井桃子の会会長であり、ご親戚にあたる星野和央氏による講演、三室地域のボランティア「みむろ文庫」の会員による石井桃子著作の絵本の読み聞かせと「幼ものがたり」の朗読、浦和第一高等学校放送部によるNHK杯全国高校放送コンテストでの石井桃子氏に関わる作品「沸き出る泉」のCD視聴の3部構成での講演を行った。また大古里公民館ロビーにて中央図書館からお借りしたパネルや、石井桃子の会とみむろ文庫が用意した掲示物、石井桃子氏が実際に使用した机や本人が創作した飾り雛などを展示した。

<取組による成果>

展示見学者と講座参加者で270名となった。展示では展示物を撮影する方も数名いた。また、参加者の中には99歳の方が講座に参加したいと家族の方が連れてこられる様子も見られ、石井桃子の関心の深さと地域の方の繋がりが感じられた。受講者のアンケートでは、「地域の奥深いお話が聞けて良かった。」「話を聞いて三室の景色が浮かんた。」「展示が良かった。」等の感想が多く、資料館の設立を希望する声も聞かれ、講座は大変好評であった。取り組みのテーマであった「郷土の歴史や文化に親しむことを通して、地域のつながりづくりを深める。」ことを達成できた。

<今後の課題>

今回限りではなく、「郷土の歴史や文化に親しむことを通して、地域のつながりづくりを深める。」ために事業を継続していくことが、大切であることを感じた。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：三室公民館

取組名

【学びからつながりづくり】

三室公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

例年、館内外問わず作品展示が好評のため、作品展示により訪問者が増えて効果的だと考えたため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

三室小・中学校（特別支援学級）やさくら草特別支援学校に協力していただき、三室公民館2階ロビーの壁面に生徒たちの美術作品を展示した。

<取組による成果>

- ・2階ロビーで立ち止まり美術作品を鑑賞する方が多く見受けられ、市民同士の会話が増えた。
- ・普段、三室公民館に来館しない、三室小・中学校（特別支援学級）の生徒たちにも足を運んでもらえた。

<今後の課題>

現在、美術作品の展示が多いため、今後は歴史展示やSDGs展示等も積極的に行っていきたい。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 尾間木 公民館

取組名

【つながりづくり】

尾間木公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

地域は、これまで何世代にも渡ってこの地域に住み続けられてきた世帯がある反面、急激な宅地化の進展により転居されてきた新たな世帯も多い。そのため、世帯数は年々増え続け、地域性も新旧の世帯によって二極化しつつある。そこで、多種多様な講座の充実とともに気軽に立ち寄れる写真展や小・中学校の児童生徒による作品展、子育て世代には隣接する尾間木児童センターとの共催事業等の充実を図っていくことが必要性となっている。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

＜取り組んだ内容や、住民との協働事例等＞

- ・尾間木地区の6小・中学校の保護者を対象とした「家庭教育学級」を開催。校長先生による子育てにおける家庭と学校のそれぞれの役割を中心とした内容で実施。
- ・地域交流スペースを使用して、「さいたま市民の日記念」の冠を付した写真展「尾間木ヒストリー（今と昔展）」や尾間木地区6小・中学校の児童生徒による作品展、緑区特別支援教育作品展、さらに、掲示による尾間木地区3小・中学校の児童生徒によるSDGsに関する研究発表展を実施。
- ・尾間木児童センターとの共催事業として、月例で実施の読み聴かせボランティアによる「ひだまり文庫」や「おまぎサマーフェスティバル」、親子での「子ども映画会」などを実施。

＜取組による成果＞

- ・校長先生による講話は、「大変満足」との評価を得た。また、講師をしていただいた校長先生の専門性を生かし工作の時間を設けていただいた。そのため、終始なごやかな雰囲気講座が進んだ。
- ・写真展や作品展は、自由に出入りできる地域交流スペースを使つての実施であったため、公民館での活動を目的に来館した方々ばかりでなく、気軽に立ち寄られた方々にも足を止めていただくことができた。作品に見入っている光景が多くあった。
- ・新たに転居されてきた世帯にあつては、子育て中の世帯も多いため、「おまぎサマーフェスティバル」等では、親子での楽しい時間となった。開催に際し、感謝の声を多く聞くことができた。

＜今後の課題＞

新旧また様々な世帯で構成される地域のため、すべての方々に満足のいく事業を実施していくには難しい面が多い。しかし、同じ地域に居を構えている方々であることから、事業の視点として、地域への思いを巡らすもの等は、それなりの効果と地域の課題解決に向けての手立てとなる面もあると考える。また、子育て世代には、隣接する尾間木児童センターとの連携による共催事業等で、それぞれの施設の特徴や利点を生かした事業展開を進めていく必要があると考える。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 原山 公民館

取組名

【地域づくり】原山公民館は、安心・安全な地域づくりをめざして地域防災の発信基地となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

阪神淡路大震災・東日本大震災から学んだことを日頃からの防災対策に生かしていくためには、地域での連携が不可欠だと考えた。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

令和4年9月1日、「地震対策に活かせる防災・減災講座」を開催。（一般参加者に加え自治会防災関係者も参加）

<取組による成果>

「地震対策に活かせる防災・減災講座」では、一般参加者を募るとともに、原山公民館地域内の自治会にも声かけをして自治会の防災関係者にも参加してもらった。公民館と地域団体で協働し、住民の防災意識を高める取り組みができた。

<今後の課題>

今後も地域の関係者、小・中学校などと協力・連携し、地域の課題に取り組むこと。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 美園 公民館

取組名

【つながりづくり】

美園公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

東北自動車道を境に東西及び新旧に分断されている地域のコミュニティづくりをするため

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

「美園うたカフェ」を地域ボランティアの協力を得ながら、基本的に月1回定期的に開催し、地域住民が気軽に集うふれあいの場とした。

<取組による成果>

感染症流行や荒天のため、数回の中止を余儀なくされたが、概ね定期的に開催することで、住民の中に定着しつつある。定員を設けたことで少ない人数ながら、参加者同士が知り合い、交流を広げる場となっている。

<今後の課題>

コロナ以前のように定員を設けず自由に集ってもらうことは難しく、事前申し込み定員制の開催としている。参加者は固定化しつつあり、つながりを深めているが、決まった定員の中で交流の広がりやどう作るかという課題がある。新年度はやや定員を増やし、できる範囲で定期的・継続的に実施していきたい。

令和4年度岩槻本丸公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：岩槻本丸公民館

取組名

【地域づくり】

岩槻本丸公民館は、地域住民の安全・安心に向けた自発的行動のための学習支援をする拠点となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

岩槻本丸公民館は、避難所に指定されているが、具体的な機能や設備について知りたいとの地域住民からの要望があったため。

令和 度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

令和5年3月7日、地域団体であるさいたま市手をつなぐ育成会岩槻支部と協働で地域の防災や実際の避難時に役立つ情報をお伝えした。

<取組による成果>

要配慮者、障害者及びその介護者と地域住民が交流する事で要配慮を要する方の実情を理解する事が出来た

<今後の課題>

広報手段を考え幅広い年齢層に周知して行きたい。

令和4年度岩槻南部公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：岩槻本町公民館

取組名

【つながりづくり】

岩槻本町公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

コロナ禍において、孤立する地域住民が多いのではないかと考え、公民館と地域住民をつなげるため、地域住民同士の交流の場づくりを図る。地域住民と協働によりサークル見学会やふれあい展示会等の地域交流事業を実施し、新たな出会いと交流の場を提供します。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

ふれあい展示会を開催し、地域の方が家で制作した作品を展示する機会を提供した。展示に関しては参加者と展示方法等打ち合わせを行い、協働して事業を行った。また、サークル見学会を開催し、開催内容については事前に参加団体と打ち合わせ等を行い、協働して事業を行った。

<取組による成果>

自分で制作した作品を展示したい地域住民と公民館をつなげることができた。作品の制作者と公民館利用者との交流も得ることができた。展示方法も住民と工夫しながら行い、協働して開催することができた。サークル見学会では、参加団体と当日の見学者の対応についての役割分担等の打ち合わせを行い、協働して開催することができた。見学会参加者が入会するサークルもあり、地域住民とサークルをつなげることができた。

<今後の課題>

まだそれほど地域に周知が進んでいないため、継続して開催し、展示参加者を増やしていきたい。

令和4年度岩槻南部公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：岩槻南部公民館

取組名

【人づくり】

岩槻南部公民館は、人々の学びのきっかけをつくり、魅力あふれる様々な学びの場とする。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

With コロナへ移行している中、公民館利用が通常の状態に戻り、地域の公民館として、地域の人材を活用し、生涯学習の輪を広げるため。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

岩槻のクワイ栽培を地元の農家の方に取材し、実際、公民館で、クワイを栽培し、クワイ栽培についての動画の撮影を行った。

<取組による成果>

公民館でクワイの育成過程を、公民館利用者が見ることができるよう玄関等でクワイの育成を行ったため、利用者にクワイが岩槻の特産品で、岩槻区内でクワイを栽培している農家の方がいらっしゃることを周知できた。

<今後の課題>

撮影したものをe公民館でYouTubeに上げることができるようにする。

令和4年度岩槻南部公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名：岩槻北部公民館

取組名

【つながりづくり】

- ・地域をともにつくり、暮らしを助け地域課題を解決する拠点となる。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

- ・公民館利用者は高齢者が多く、親子サロンなど子育てに関わる講座への参加者が集まりにくい状況である。そのため、地域と連携し若い世代にも公民館を利用してもらえる取り組みを実施する。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ・地域の中学生にボランティアとして、小学生向けの講座の助手として参加してもらい、講座運営について、公民館と打ち合わせをする等、協働して講座を開催した。
- ・地域の高校生のダンス部生徒に、小学生向けのダンス教室の講師をお願いし、講座内容について公民館と打ち合わせをする等、協働して講座を開催した。

<取組による成果>

- ・中学生や高校生が公民館の事業に参加し、協働して事業を開催することにより、公民館を身近に感じ、公民館で実施している事業について知ってもらうことができた。

<今後の課題>

- ・さらに地域との連携を深めていけるように、引き続き同様の取り組みを行うとともに、学校以外の機関とも連携を図る必要があると思われる。

令和4年度 公民館ビジョン取組実績報告書兼推薦書

公民館名： 岩槻城址 公民館

取組名

【つながりづくり】

岩槻城址公民館は、誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

取組を定めた要因や背景、地域課題、住民ニーズ等

利用者の高齢化やコロナ禍により公民館で活動する団体数や会員数が減少している。公民館でのサークル活動やボランティア活動を活性化し地域住民のつながりの場とするため、サークルやボランティア団体と協働し情報提供やイベント等を積極的に行う。

令和4年度の成果・課題・住民との協働事例等

<取り組んだ内容や、住民との協働事例等>

- ① ボランティア活動の活性化のため、公民館利用ボランティアサークルと協働し、会員募集説明会を実施した。
- ② 新規事業として、公民館利用団体との協働イベント「サークル体験交流会」を開催し、利用団体支援と地域交流を図った。

<取組による成果>

- ① 毎月継続して公民館で活動しているパソコンボランティア会の会員募集を公民館とサークルとで協働して行った。入会には至らなかったが2人の応募と複数の問い合わせがあり、地域周知として一定の成果があったと考える。
- ② 新規事業として「サークル体験交流会」を開催方法等を利用団体と打ち合わせする等協働事業として開催した。参加団体11団体、見学者延べ人数18人の参加があり、地域の方に公民館活動団体を知っていただき交流を深めるきっかけづくりとなり、入会にもつなげることができたため、活動団体と地域住民のつながりづくりに成果があったと考える。

<今後の課題>

徐々に公民館利用が増えてきたが、まだ休会状態の団体もありコロナ前の利用数には達していない。今後も公民館活動支援に力を入れ、また新規サークル育成も検討する必要がある。